

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和 元 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	広報広聴課長 内田 彰三	
共創-10	実施事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	広報広聴課
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民
意図	市民ニーズを把握し、今後の行政計画に反映させるとともに、市政全般について理解を深めてもらうため。
効果	市民と行政の相互理解を深め、円滑な市政運営に資する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

インターネット環境を活用した「市政e-モニター制度」を実施し、定期的なアンケートのほか、随時、ニーズ等を聴取することにより、市民の意見を把握した。
自治町内会とのふれあい地域懇談会、市民活動グループとの市長カフェ、高校生等若者との青少年トークなど、広聴懇談会を開催し、様々な角度から市民の意見を把握した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度) 決算	30年度(2018年度) 決算	データ区分	01年度(2019年度) 当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	176,466人	人 口	176,436人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	81,150世帯	世 帯 数	82,444世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	170	当初予算(千円)	159	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	170	一般財源	159	
	人員配置数	1.5	人員配置数	1.5	
事業経費運営	人件費(千円)	11,854	人件費(千円)	11,701	
	総事業費(千円)	12,024	総事業費(千円)	11,860	
	市民1人当りの経費(円)	68	市民1人当りの経費(円)	67	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市政e-モニター、自治町内会

事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他	見直し内容 新たな広聴事業を検討する。
	⇒ 事業へ統合		

予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 現在の予算規模の広聴活動を継続しつつ、内容の見直しを行う。なお、新たな広聴事業の検討や既存事業の拡充に伴い、事業の手法によっては、予算編成を見直す必要がある。

総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民のニーズを的確に捉え、広く市民の意見を市政に反映するため、広聴事業の見直し並びに充実が必要と考えており、削減の余地はない。 市政e-モニターの登録者数は増加しているが、本市の人口規模で必要とされる回答者数(400人)には及ばないため、引き続き、登録者数の増加に向けた取り組みを行っていく。
-------------------	---

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値）

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	他市の登録者数等を参考としつつ、本事業の有効性を高める。
------------------------------	------------------------------

指標の内容	市政e-モニター登録者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)		R01(2019)		
より多くの市民の声を抽出し、その声を有効なものとして、市政に反映していくため。	目標値	500	600	900	1,200	1,500		2,000		
	実績値	311	384	438	446	453				
	達成率	62.2%	64.0%	48.7%	37.2%	30.2%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	登録者数は順調に伸びてはいるものの、達成率は低い。更なる周知が必要と考える。
-----------------------	--